

基本方針（たたき台）

■次代をみすえた教育環境として拡張性のある学び舎づくり

- ・ 生徒が落ち着いて学習できる環境や活発な活動ができる広い校庭を整備します。
- ・ 生徒数の増加や生活様式、学習形態の多様な変化に対応できる環境を整備します。

■愛着と誇りの持てる学び舎づくり

- ・ 弦巻中学校の歴史と記憶の継承と発展に努めます。
- ・ 地域に愛され、全ての利用者にとって親しみの持てる学校を整備します。
- ・ 周辺の住環境への影響に配慮した計画とします。

■生徒と地域を守る安全で安心な建物づくり

- ・ 施設全体にユニバーサルデザインを推進し、誰もが利用しやすい安全で安心な施設とします。
- ・ 災害時も有効に機能し、避難所としての役割を果たす施設とします。
- ・ 長寿命かつ将来の利用形態の変化に追従できる施設とします。

■自然と人にやさしい学び舎づくり

- ・ SDGs への取組みに寄与し、社会や環境と調和する施設とします。
- ・ 自然エネルギーを有効活用し、省エネの推進と快適性の向上を図ります。
- ・ 既存樹木の保存に努めるとともに、積極的に緑化し潤いのある環境を整備します。
- ・ 木材の積極的な活用により、安らぎと温もりのある健全な活動空間を創出します。

配置計画・ゾーニング比較表 (たたき台)

	I 案 (北側配置 3 階建敷地境界平行型)	II 案 (北側配置 3 階建既存校舎直交型)	III 案 (南側配置 3 階建)
配置・簡易ゾーニング案			
断面構成	<p>地上3階 約 1850㎡ / フロア</p>	<p>地上3階 約 1850㎡ / フロア</p>	<p>地上3階 約 1850㎡ / フロア</p>
校庭	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭を整形に確保することができる 200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 校舎北側（北側道路側）に整形でまとまった緑地を確保できる 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭を整形に確保することができる 200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 校庭北東部（野球ライト側）にゆとりのあるスペースを確保できる 	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> 200mトラック、100m直線レーンの確保が可能。ただし、スタートもしくはゴール余長部の校舎形状が一部不整形となる 校庭（校舎側）に影が落ちるため、雨天・降雪後の使用に影響が出る範囲がある
と既存校舎関係	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と同様の配置であるため、既存建物との動線や運用の変化が小さい デッキなどを介して体育館（2階）へ直接行き来が可能（最短距離） 	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と同様の配置であるため、既存建物との動線や運用の変化が小さい デッキなどを介して体育館（2階）へ直接行き来が可能 	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存棟との動線計画に工夫が必要となる（2階部分での接続が難しい） 敷地南側は周辺道路と高低差があるため出入口を設けることが難しく、車両などの寄り動線が長くなる
近隣影響	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と同様の配置であるため、近隣への心理的影響が小さい 3階建となることで近接住戸への日照条件が改善される 校庭からの活動音や粉塵等の影響が小さい 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と同様の配置であるため、近隣への心理的影響が小さい 3階建となることで近接住戸への日照条件が改善される 校庭からの活動音や粉塵等の影響が小さい 	<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣（特に北側）への圧迫感や日影の影響は解消できるが校庭からの活動音や粉塵、夜間照明による光害等の影響が大きい
環境対策	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> 東西に長い建物配置となるため、比較的環境負荷を抑制できる 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> 東西に長い建物配置となるため、比較的環境負荷を抑制できる 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> 東西に長い建物配置となるため、比較的環境負荷を抑制できる 南側居室は道路からの騒音対策が必要となる
その他			<ul style="list-style-type: none"> 仮設校舎は不要

	IV案 (北側配置2階建)	V案 (南側配置2階建)	VI案 (北側配置4階建)
配置・簡易ゾーニング案			
断面構成	<p>地上2階 約2800㎡/フロア</p>	<p>地上2階 約2800㎡/フロア</p>	<p>地上4階 約1400㎡/フロア</p>
校庭	△ <ul style="list-style-type: none"> 校庭を整形に確保することができる 200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 校庭が他案よりやや狭くなる 	△ <ul style="list-style-type: none"> 200mトラック、100m直線レーンの確保が可能。ただし、スタートもしくはゴール余長部の校舎形状が一部不整形となる 校庭に影が落ちるため、雨天・降雪後の使用に影響が出る範囲がある 	○ <ul style="list-style-type: none"> 校庭を整形に確保することができる 200mトラック、100m直線レーンの確保が可能 校庭北東部（野球ライト側）に広いスペースが確保できるが、北西部が狭くなる
と既存校舎の関係	◎ <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と同様の配置であるため、既存校舎との動線や運用の変化が小さい デッキなどを介して体育館（2階）へ直接行き来が可能 	△ <ul style="list-style-type: none"> 既存棟との動線計画に工夫が必要となる（2階部分での接続が難しい） 敷地南側は周辺道路と高低差があるため、出入口を設けることが難しく車両寄付き動線が長くなる 	◎ <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎の配置計画と大幅な変更がないため、既存校舎との動線や運用の変化が少ない デッキなどを介して体育館（2階）へ直接行き来が可能
近隣影響	◎ <ul style="list-style-type: none"> 既存校舎と同様の配置であるため、近隣への心理的影響が小さい 2階建となることで近接住戸への圧迫感軽減や日照条件が大幅に改善できる 校庭からの活動音や粉塵等の影響が小さい 	△ <ul style="list-style-type: none"> 近隣（特に北側）への圧迫感や日影の影響は解消できるが校庭からの活動音や粉塵、夜間照明による光害等の影響が大きい 	○ <ul style="list-style-type: none"> 建築面積を小さく出来るため、近隣住居からのセットバック距離を大きくできる 地上部緑化が広く確保できるため緑地率を向上できる
環境対策	○ <ul style="list-style-type: none"> ペリメーターゾーンの影響範囲を小さくできる 建築面積が大きくなるため屋上緑化や太陽光パネルのレイアウトの自由度が高い 	○ <ul style="list-style-type: none"> ペリメーターゾーンの影響範囲を小さくできる 建築面積が大きくなるため屋上緑化や太陽光パネルのレイアウトの自由度が高い 南側居室は道路からの騒音対策が必要となる 	△ <ul style="list-style-type: none"> 建築面積が小さくなり、建物形状が正方形に近づくためペリメーターゾーンの影響範囲が大きくなる ※ペリメーターゾーン： 窓や外壁に面している外部からの影響を受けやすい範囲
その他		<ul style="list-style-type: none"> 仮設校舎は不要 	<ul style="list-style-type: none"> 建築（屋根）面積が小さいため、屋上緑化、太陽光パネル、室外機のレイアウトが難しい